

第3分科会 持続可能なコミュニティ・スクール に向けた仕組みづくりと中身づくり



鳥取砂丘



鳥取市立湖南学園 教諭 林田 卓也
鳥取市教育委員会 指導主事 松本 晃

VTR 1

学校運営協議会研修会
令和元年5月31日（金）実施
（10：00～11：30）



鳥取市紹介



R1.6.1現在	鳥取市	鳥取県
人口	187,455人	556,687人
面積	765km ²	3,597km ²
特産品	らっきょう 松葉ガ二	二十世紀梨等



らっきょうの花



二十世紀梨

コミュニティ・スクールの導入状況

令和元年6月1日現在

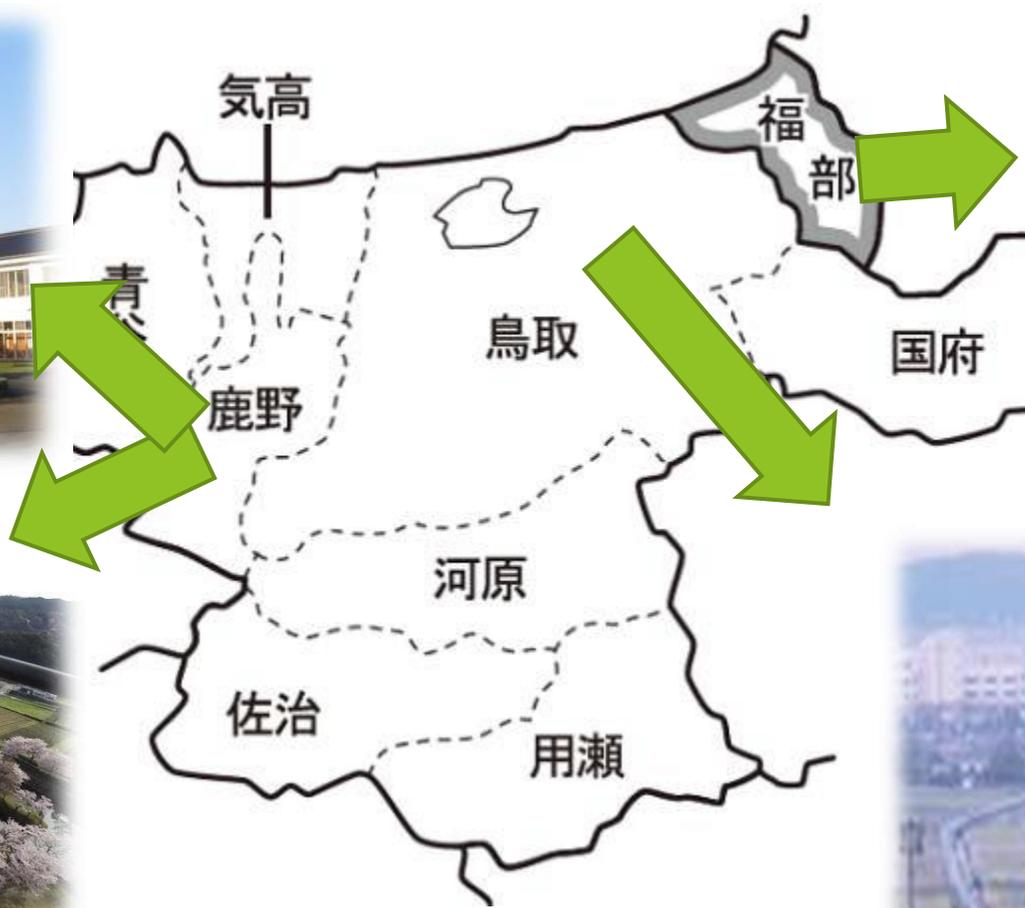
鳥取市小学校全41校・中学校全14校・義務教育学校全3校

年度	小学校	中学校	義務教育学校
H26	2校	2校	0校
H27	1校	1校	0校
H28	8校	2校	0校
H29	12校	0校	0校
H30	13校	5校	3校
R1	3校	3校	0校
合計	40校	13校	3校

鳥取市紹介



鹿野学園



福部未来学園



湖南学園

R1.5.1 現在	湖南学園	福部未来 学園	鹿野学園
開校	H30	H30	H30
人口	2015人	1487人	1869人
生徒数	150人	205人	240人

義務教育学校 鳥取市立湖南学園

▶ 校訓

切磋琢磨

▶ ミッション

一貫校で人づくり 地域づくり

▶ 学校教育目標

心身を鍛え、智を磨き、ふるさとへの誇りと高い志をもつ子の育成



鳥取県初小中一貫校としての10年の実践

- ▶ 児童生徒数の減少
- ▶ 地域に中学校を存続を願う声
- ▶ 人間関係力（コミュニケーション）
プレゼンテーション力（自己表現）
が課題
- ▶ 独自教科コミュニケーション科



社会に開かれた教育課程

- ①社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じて よりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。
- ②これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- ③教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

社会に開かれた教育課程

①教育課程を介して
その目標を社会と共有

- ・ 熟議を通してビジョンの共有
- ・ 学校を核としたゆるやかな横のつながり

②育成すべき
資質・能力を明確化

③地域の人的・物的資源の
活用、社会と共有・連携

学校運営協議会設置に向けて①

▶ 平成29年度 **組織の検討開始**

6月	第1回学校評議員会	・ 学校運営協議会設置について
9月	第2回学校評議員会	・ 「学校・保護者・地域の連携強化」について意見交換
11月	第3回学校評議員会	・ 学校運営協議会設置に向けたスケジュール確認
3月	初めてのボランティアの会 	・ 29年度振り返りと30年度の取組 ・ よりよい連携になるためのアイデアや気づきなどを出し合い、まとめる ・ 学校運営協議会設置に向けて

ボランティアの会 (平成29年度末、30年度5月実施)



多くのボランティア活動をカレンダーに分野ごとに写真で集約

鳥取市立湖南学園 昨年度お世話になったボランティアの内容 昨年1年間様々な教育活動にご支援いただきました。

4月	6月	8月	10月	12月	2月
<p>総合的な学習時の活動支援 ◎5年 米づくり田起こし・代かき・田植え・稲刈り・もみずり・もちつき 支援者 12名(実数) 4~12月</p>					
<p>授業補助 (5年家庭科・10回、6年家庭科・3回) 6月~10月支援者のべ27名</p>			<p>総合的な学習時の活動支援 ◎5年 もちつき 支援者 28名(実数) 12月</p>		<p>生活科活動支援1・2年 昔の遊び体験 支援者 20名(実数) 1月</p>
<p>長期休業中の学習支援 (こなん塾・学習支援) 支援者 7・8月 6名(実数)</p>			<p>校庭草取り・植木剪定作業(奉仕作業への参加) 支援者 10名(実数) 8月</p>		
<p>ボランティア、花壇整備 (児童生徒との交流活動) 支援者 7月 4名 11月 5名(実数)</p>			<p>顔出しパネル (高等ブロック) 12月</p>		
<p>読書者読み聞かせ (週に1~3回程度) 支援者 7名(実数) 通年</p>			<p>登下校見守り 支援者 168名・保護者を含む(実数) 通年</p>		

平成30年度前期

<p>5月</p>	<p>学校評議員会 2回目のボランティアの会</p> 	<p>学校運営協議会の人選 「地域学校協働活動について」 講師 鳥取市生涯学習スポーツ課</p> <p>今年度の予定について 地域連携担当 お世話になりたい活動 担当職員紹介</p>
<p>6月</p>	<p>第1回学校運営協議会準備会</p>	<p>運営協議会委員の選定 ビジョンや課題の共有</p>
<p>7月</p>	<p>第2回学校運営協議会準備会</p>	<p>目標を設定するための手順について</p>
<p>9月</p>	<p>第1回学校運営協議会</p>	<p>ビジョンや課題の共有</p>

CSへ

平成30年度後期

1 1月	第2回学校運営協議会	「めざす子ども像」・目標について
1 2月	地域学校協働本部の設置	自治会の中に設置が決定
1 2月	湖南の未来を語り合う会 (旧ボランティアの会)	地域の方と教員が意見交換
2月	第3回学校運営協議会 湖南学園学校運営協議会 研修会 	<p>次年度の方針、広報活動について 学校運営協議会 協議内容報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針 「地域に根ざした学園づくり」 ～学園は地域を元気に、地域は子どもを豊かに～ ・重点目標 <ol style="list-style-type: none"> 1 地域教育力の向上 2 つながりのある地域づくり ・意見交換（4つのグループ） <ul style="list-style-type: none"> A：安心安全 B：つながり C：ボランティア D：地域づくり

運営協議会は「協議を」
地域学校協働本部は「実働を」

社会に開かれた教育課程

①教育課程を介して
その目標を社会と共有

- ・ 熟議を通してビジョンの共有
- ・ 学校を核としたゆるやかな横のつながり

ポイント

②育成すべき
資質・能力の明確化

- ・ 地域学校協働活動推進員と地域連携担当教員の配置
- ・ 計画段階から加わっていただくためのタイミング

課題

③地域の人的・物的資源の
活用、社会と共有・連携

中身づくり

社会に開かれた教育課程の趣旨を理解していただく

②これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い
関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力
とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。

従来

協力可能な事柄
の協議

教育活動の
割り振り

依頼

学校：疲労感
地域：疲労感

育てたい資質・能
力の刷り合わせ

教育活動の
計画

協力の依頼

学校：学力向上
地域：達成感

ポイント：身につけたい力ありきで

中身づくり

各担当が地域の方とやりとりする
よさもありますが・・・

地域学校協働活動推進員さんの
フットワークにより・・・

地域に開かれた教育課程
アクティブラーニング
カリキュラムマネジメント

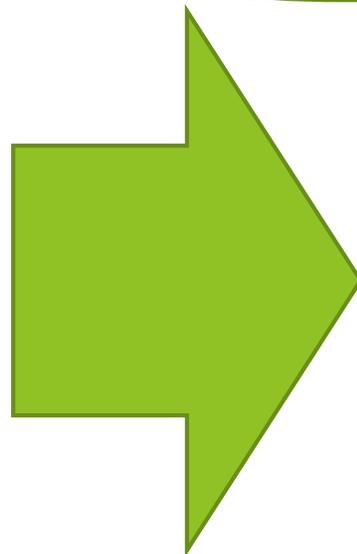
●●先生の思
いは・・・

なるほど！
そういうこ
とね。

？
何から始めれ
ばいいの？



従来



地域学校協働活動推進員との連携

社会に開かれた教育課程

①教育課程を介して
その目標を社会と共有

- ・ 熟議を通してビジョンの共有
- ・ 学校を核としたゆるやかな横のつながり

②育成すべき
資質・能力の明確化

- ・ 地域学校協働活動推進員と地域連携担当教員の配置
- ・ 計画段階から加わっていただくためのタイミングが課題

ポイント

③地域の人的・物的資源の活用、
社会と共有・連携

- ・ 町の支援が全て義務教育学校に集中。一貫教育のよさを生かせる。
- ・ 新しい時代に求められる学力についてさらに研修を深めることが課題。

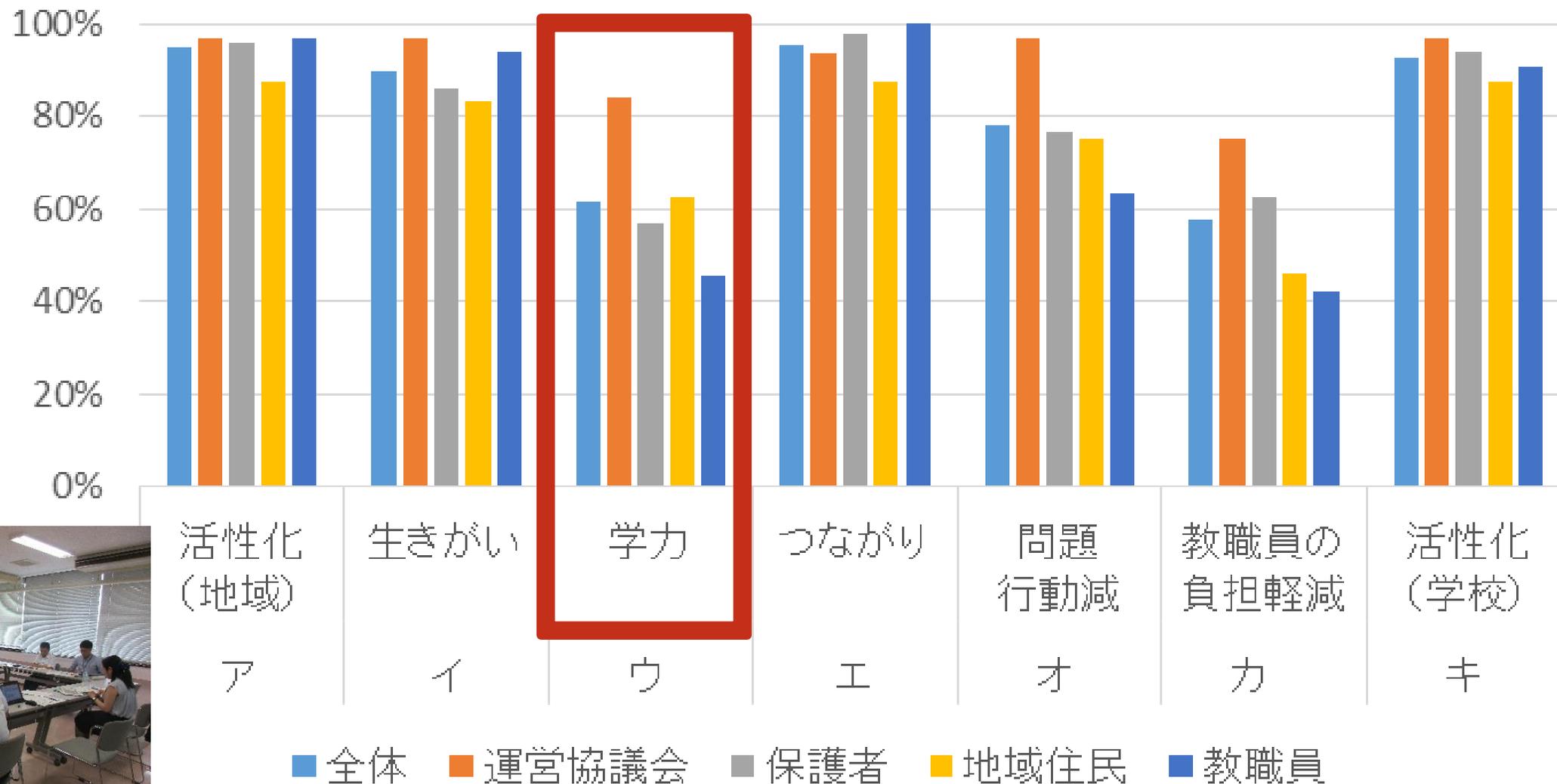
課題

Q10：学校と地域が連携することのよさがあるか。

1：とてもそう思う 2：ややそう思う

3：あまり思わない 4：まったく思わない **肯定的評価（1+2の合計）**

湖南学園・福部未来学園・鹿野学園 3校合計



鳥取市の3義務教育学校 生徒会メンバー初の交流

独自の取り組みなど意見交換

鳥取市内の三つの義務教育学校の生徒が交流する初のイベントが23日、鳥取市六反田の湖南学園で開かれた。生徒たちは学園の独自の取り組みやアピールポイントを発表し合い、互いに

理解を深めた。

交流したのは湖南学園、福部未来学園(同市福部町高江)、鹿野学園(同市鹿野町鹿野)の各生徒会の7〜9年のメンバー計18人。他校の生徒と班を作り、「各

学園のいいところ、生徒会として今後やいこと」をテーマに交換した。

生徒たちは「学なく仲がいい」「関わりが深い」



地域学校協働活動推進員 (地域コーディネーター)

山田さんの思い



地域連携担当教員

地域コーディネーター

質問：地域コーディネーターとして 心掛けていることは



質問：地域学校協働活動は子どもたちの 深い学びにつながりますか



質問：学力については
どう思われますか。



学校の応援団として



社会に開かれた教育課程

①教育課程を介して
その目標を社会と共有

- ・ 熟議を通してビジョンの共有
- ・ 学校を核としたゆるやかな横のつながり

②育成すべき
資質・能力の明確化

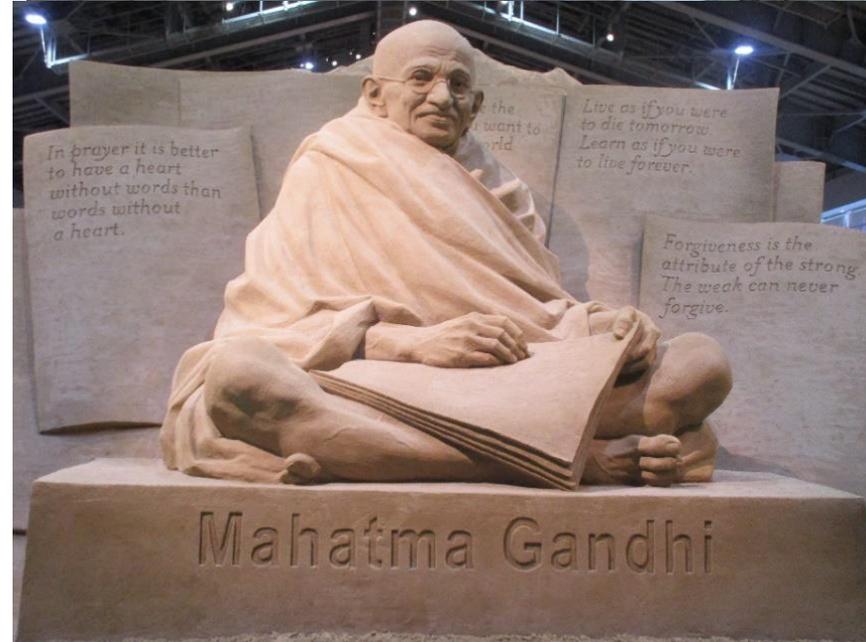
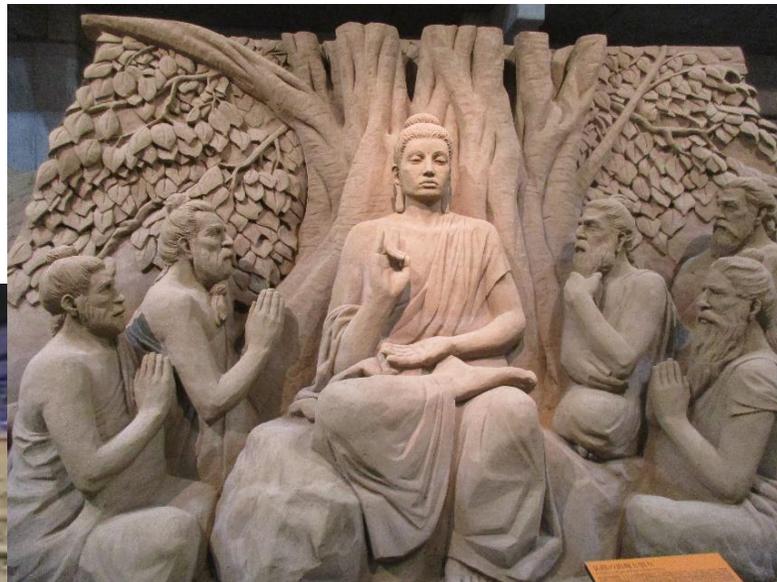
- ・ 地域学校協働活動推進員と地域連携担当教員の配置
- ・ 計画段階から加わっていただくためのタイミングが課題

ポイント

③地域の人的・物的資源の
活用、社会と共有・連携

- ・ 町の支援が全て義務教育学校に集中。一貫教育のよさを生かせる。
- ・ 新しい時代に求められる学力についてさらに研修を深めることが課題。

課題



御清聴ありがとうございました

鳥取砂の美術館
砂で世界旅行・南アジア編





